


・区分	10800 ハード部門(土木)
タイトル	岸壁に常設した救命索
動機・改善前の状況	防波堤は水面から完成上部天端まで約6mのコンクリート壁が直立した構造となっていて、海中転落災害が発生した場合、転落者がすぐる施設が無く、潮流やうねり等で流されたり自分の体勢を保持できないことにより、パニック状態に陥り、災害に至るので何とかしなくてはという思いがあった。
改善・実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・救命索を取り付けた。 ・岸壁から転落した場合、直高6mの岸壁をよじ登るのは不可能、かといって大声出しても波の音や工事の音でかき消され落ちた人の声は聞き取れにくく、そのうち疲労しておぼれる可能性がある。そこで救命索をつけた浮環(浮き輪)を10m毎に外海に垂らした。
改善効果	<p>防波堤からの海中転落を試み、転落時の衝撃や水面で体勢保持などの状況を確認するとともに、救助の方法・手順・役割を訓練で確認した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 救命胴衣の機能と正しい着用方法、転落時の状況の確認 (通常・膨張式の2タイプで実施) 2. 水面での浮遊状況と救命索の効果の確認 3. 海中転落者の救助方法 4. 緊急時の連絡手順の確認と伝達訓練 <p>以上が確認できた。</p>
活動内容 改善事項の図、 写真	 <p style="text-align: center;">救命索設置状況</p>
事例提供先	みらい建設工業(株)